



# 学校だより

9月号

2014年8月27日  
横浜市立中村小学校

学校教育目標 **ともに生きる社会をつくる子どもを育てます**

- ・相手の話を聞き、粘り強くやりとげられるようにします。(知)
- ・互いを認め合い、高め合えるようにします。(徳)
- ・自他の生命を大切に、健やかな心と体を育みます。(体)
- ・よいこと悪いことを判断し、進んで行動できるようにします。(公)
- ・様々な人とのコミュニケーションを通して、視野を広げられるようにします。(開)

## みの実りが多かった夏。

こうちょう なががわ かずゆき  
校長 中川 和幸

今年の夏も暑い日が続きましたが、皆さん夏バテなどせずに元気で過ごされましたでしょうか。

さて、「実りの秋」という言葉がよく使われますが、今年の中村小学校は、「**実りの夏**」でした。2年生や3・4組の子どもたちが植えたキュウリ、トマト、ミニトマト、3年生のオクラ、4年生のゴーヤが元気に育ちました。スクールきれい(栽培)委員会が挑戦した小玉スイカも実をつけました。水やり当番に来ていた委員の子たちと試食したところ、とてもみずみずしく甘くておいしかったです。また、地域の鈴木



6個も小玉スイカができました。

さんから数年前にいただいたブドウも工事のために体育館裏へ移植したのですが、これも多くの実をつけました。少しすっぱいもののおいしくいただきました。毎日水やりをしっかりと続けた成果だと思いました。(休日は学校開放の皆さんに協力していただきました。ありがとうございます。) 5年生の稲の方も水田で大きく育っていますので、お米も例年以上にできるのではないかと期待しています。

植物だけでなく、子どもたちにも「**実りの夏**」を感じることができました。特別水泳クラブは参加者も多く、みんなとても上達しました。自分の課題をしっかりとつかんでまじめに取り組んだので、水に浮くことができるようになったり、息継ぎをして25mを泳げるようになったりしました。区水泳大会でも自己記録を更新する子が続出しました。男子200mリレーでは昨年に引き続いてブロック優勝をして、市水泳大会への出場権も獲得しました。国際プールでも精一杯の泳ぎを見せてくれました。

地域や中学校との連携という面でも「実り」が多かったように思います。今年は本祭りでしたので、威勢よく神輿を担ぐ地域の皆さんや子どもたちの姿が目には焼き付いています。子どもたちが地域で育つことを実感できました。中学校の部活体験も参加者が多く、盛り上がっていました。「**実りの秋**」となるように、これからも保護者・地域の皆様との連携をすすめてまいりますので、ご協力をお願いします。

ところで、広島での起こった土砂崩れは本当に心が痛みます。数年前、本校学区でもあっただけに心配です。早く救出されることを祈るばかりです。